

ファンの音かすかにさせて三尺寝

松戸市 早坂 哲夫

【評】三尺寝は、屋外で働く人の屋外での昼寝。ハンディファンにも作業服のファンにも読めるが、やはりこれは後者だろう。現代の労働の風景が、たしかに描きとられている。肉の赤ホルモンの白夏半ば

新潟市 大竹 健一

【評】焼肉屋の卓上風景である。肉の赤とホルモンの白とがあざやかに対照的となる。そこに夏の盛んなるいのちを捉えているのだ。楽途切れをるも踊の途切れざる

川崎市 折戸 洋

【評】盆踊りの音楽が、テープの都合などで途切れている。しかし、踊りの方は途切れることはない。伝統ある踊りで踊り慣れている。水面より蛇抜き取るや鴉の嘴

久留米市 川北 敦子

切られ役の仰け反るけいこ夏芝居 大津市 星野 暁

草庵を夏草閉ざす雲巖寺 小山市 松本 喜雄

ミス早乙女今年はタイの実習生 町田市 鈴木 朗

ででむしの這い上がる窓見て暮るる 鳥取県 馬野慎一郎

蚊取線香いっかい嗅いでから戻す 町田市 花田 港

宇治川の鵜匠は女性顔白し 枚方市 秋岡 実

ウエブ会議終えてあんみつ買いに行く

東京都 大野多恵子

【評】自宅からウエブ会議に参加。近年よくある勤務形態だ。緊張する会議を終えて、休憩時間にあんみつを買いに。解放感が伝わる句。これくらいの楽しみがあつて良い。猫叱る本家の爺に水鉄砲

島根県 重親 映人

【評】猫を虐めているように見えたのだろう。子供には本家も分家も関係ない。得意げな子と、爺の呆氣にとられた顔が目に見え。明易や枕に残る夢一つ

国立市 平林 茂

【評】夢が枕に残っていると捉えたところが良い。まだ夢つつつの状態なのだ。「明易」の季語も、しっかりとした情感を醸し出している。父と子の二人ラグビー夏木立

川越市 福田 真弓

ホテル舞 Goodbyesirのくずし字で 山口市 久保田麗二

糸とんぼ触れたる指のまだやさし 神奈川県 石原美枝子

一日をとろ火に任せ梅雨ごもり 神戸市 平尾美智男

箱庭に四方の山より朝日さす 相模原市 はやし 央

青春のヘッセに会ふ夏館 東京都 小出 功

ガウティのベンチ曲線風薫る 戸田市 小暮 よし

さすが合う合う！

なつはづき (俳人)

俳句あれこれ

この一か月ちょっと、世間はW杯で盛り上がった。普段は野球派だが、期間限定のファンになり一喜一憂して過ごした。

ふと初めて生でJリーグ観戦をした時の事を思い出す。仕事帰りに弁当とビールを下げてスタジアムに入った。あれ？皆立っている。しかも、前半ずーっと立っている。ゆつくり飲み食い出来ない雰囲気だ。あっ、目を離した隙にボールがどこにあるのか解らなくなる。それよりもカズはどこ？動き回っている。誰が誰だか全然解らない。ねえ、カズはどこ？お願い止まって、止まってえ！

その点野球はいい。守備位置は解っているし、打順も決まっている。ずっと見ていなくても大丈夫。余裕をもって飲むビールは最高だ。うむ、結局は安心して飲めればいいってこと？

△外野席ビールの泡の躍り出すはづき▽。サッカーは冬の季語。ナイターとビールは夏の季語。うん、さすが合う合う！



題字デザイン・イラスト 福田美蘭